

## 山行報告書

山行管理部

### 公開山行 岩湧山 11月25日

CL 松本（光） SL 三嶋、入山、島袋 参加 42名（内一般3名）  
南海難波駅 8:13～紀見峠駅 8:56～越が滝 10:00～根古峰 11:10～五ツ辻 11:55～  
岩湧山 12:40～五ツ辻 14:15～根古峰 14:55～紀見峠駅 16:40（解散）

不安定な天候で不安でしたが紅一点の山行日和。ごく僅かであるが紅く染まった紅葉を横目に、いざ岩湧山へ総勢42名を2班に分けたが間隔ができた時に声掛け出来ず反省、途中トイレ休憩にて1班が先に、トイレ周辺では済ました人などで待ちぼうけ、先に頂上へ行ってもらってはとアドバイス。まだまだ目配り、気配りしなとなと思いつつも頂上へ、頂上付近ではススキは終わっていると思われたが草原に羽毛布団を広げたようなススキの大海原で綺麗でした。解散時には無事に皆さん怪我もなく下山できなによりでした。

（松本（光） 記）

### 教育部 アイゼンワーク 12月2日

【場所】蓬萊峡（岩登り教室）【参加者】12名

#### 【コース記録】

阪急宝塚バス停 08:15 — 座頭谷バス停 08:35 — 蓬萊峡 08:45

- ・砂地にてアイゼン不装着で歩き方の基本練習。後に装着して歩行練習
- ・スラブではフィックスロープをセットして歩行の練習
- ・スラブ下で懸垂下降のおまけ体験

蓬萊峡 15:30（反省会）—徒歩— 宝塚駅 17:00 解散

【感想】砂地では5パーティーがそれぞれ譲り合って訓練をして、スラブへ移動した。正月登山の訓練で混み合っていると思いきやスラブはガラ空きで何年振りかで登下降の訓練が出来た。ゲレンデが空いていたので時間に余裕があったのでおまけで懸垂下降の体験をする。反省会では歩き方の基本の大切さがよく理解できこれからの山行に活かせるとの声が励みになった。懸垂下降体験では皆、目を輝かせて楽しんでた。

（高桑 記）

### 土曜山行 金剛山 12月8日 CL 森（保） SL 家納 参加 25名

南海難波駅 8:13→河内長野駅 8:42→河内長野駅（バス）9:00→金剛山ロープウェイ前 9:37（点呼、体操）9:55→久留野峠 10:34→伏見峠 11:17→ピクニック広場 11:30（ちはや園地）昼食 12:00→一ノ鳥居→山頂広場 12:40→岩屋文殊 13:05→文珠尾根→登山口 14:25→金剛山ロープウェイ前（解散）14:37→河内長野駅→難波駅（忘年会 17時～）

ここ数日暖冬だったのに、この日は冬らしい寒さの中出発、途中雪が降ってきて風も冷たくますます寒く、金剛山山頂気温マイナス1℃でした。冬の山行ではお昼をいかに寒くなく頂けるかは重要？今回下見の時にはピクニック広場の建物内でお弁当を食べるのに利用してもいいとは思わなかったので、屋外でと計画していましたが、乾部長（なんと金剛山700回登頂しているそうです。名前札しっかり確認して来ました）から、ピクニック広場の建物内利用出来るとの情報を頂き、そちらへ移動ストーブも有、テーブル付きの椅子で暖かくお昼休憩出来ました。下山ルートは階段ばかりの千早本道から文珠尾根に、コース変更も無事下山出来良かったです。自由参加の忘年会15名で美味しく頂きました。

(家納 記)

### サロン パナソニックミュージアムとカラオケ 12月14日

L宇野 参加9名

駅を出ると急ぐ。松下幸之助さんの銅像に迎えられる。ミュージアムはロビーがゆったりしてゾーンに従って行く。1894～1918年の誕生から創業までの第1期、第4期では夢果てしなく、会長、相談役までの94年間の生涯の記録の展示。9歳で親元を離れ丁稚奉公、そこで商売の基礎を学び、24歳で創業。時代と共に節目節目での苦境に立ち向かい、打開、飛躍して行く経営理念や、経歴の紹介を鑑賞する。時間の都合でヒット商品の展示館は見学できませんでした。京橋でランチをして、カラオケでは大いに盛り上がり楽しみました。市井さん、辻さんの参加。御二人共元気ですよ。

(宇野 記)

### 自然保護部 但馬にそびえる東洋のマチュピチュ天空の城 竹田城跡 日本を代表する世界的冒険家極北マッキンリーに消えた植村直己冒険館

12月15日(土) CL 石野(博) SL 松本(正) 参加14名

JR 大阪駅 08:15 ----> 09:34 姫路駅 ----> 10:39 寺前駅 ----> 11:22 竹田駅 ~

竹田城跡~ 13:44 竹田駅 ----> 13:50 和田山駅 ----> 14:14 江原駅 <sup>バス</sup> ----> 15:00

植村直己冒険館 16:02 <sup>バス</sup> ----> 16:15 江原駅 ----> 16:44 和田山駅 ----> 17:54 寺前  
駅 ----> 18:52 姫路駅 ----> 19:58 大阪駅

青春18切符を利用して上記2ヶ所を訪ねる。

先ず JR 竹田駅から駅裏登山道(約40分)を登って竹田城跡を目指す予定であったが、12月からは通行禁止となっていた。南登山道を登ると往復2時間を要し、

バスの発車時間に間に合わなくなる可能性があったので、適宜判断しての行動を取った。

また、次の冒険館も実質50分程の中で、ビデオ鑑賞、ガイドさんの案内による館内見学と慌ただしく、初めて来られた方はもっとゆっくりしたかったのではと反省。植村直己が使用した装備品や冒険行の記録などを見て、当時を偲んでいただけたらと。43歳の若さでマッキンリーで消息を絶った植村さん。発見されるのはいつの日になるのだろうか。  
(石野(博) 記)

## ターブル山行 奥比叡 12月16日

CL：清水(彩)、上坂、岩佐、安田(幸) 参加17名

JR大阪駅 7:45(新快速) 坂本駅(8:30) - 点呼注意事項コース説明、体操。  
別堂大師堂(9:05) - 西教寺(9:20) - 坂本の道分岐(9:30) - 元三大師堂分岐(9:50)。  
中尾坂から横川本坂の上り - 聖観音石像(10:50) - 横川中堂(11:20) ランチ、  
トイレ休憩など 12:00 - 仰木峠(13:00) - 倒木ゾーン潜り抜けて大原(14:20)  
解散! 16:30 三条駅付近にて忘年会!

気になりながら? 晴れやかな気分で初リーダー担当させて頂き、無事下山する事が出来、諸先輩方々のお蔭です。ありがとうございます m(\_ \_)m

坂本の道までは一般道で迷いながら先導していく心臓はパクパク! 少々荒れている山歩の道を通り、横川本坂の九九折れの坂道は皆様も根気よく登れた。

横川中堂から仰木峠の激下りと登り返し、全員無事にクリアし、生還を得た気持ちであった!

今回の行程は約13km、5時間コース。台風の影響で道は少々荒れていたが難なく歩けた。2日間前に降った雪は少し残っていた。寒さを感じていた為、立休憩のみ、長時間の休憩は取れなかった。紅葉綺麗なシーズンに企画すべきと思います。

(清水(彩) 記)

## 有志山行 小豆島(寒霞溪 星ヶ城山) 11月23日 参加5名

宿出発 8:30 - 紅雲亭 P 9:00 - 画帖石 9:30 - 鳥帽子岳 10:10

展望台 10:30 - 星ヶ城神社 11:20 - 展望星ヶ城昼食 11:30

三笠広場 13:00 - 石門洞 14:30 - P 15:30

天気にも恵まれ、寒霞溪は葉が少し落ち展望の方向に登って行き、展望の景色は絶景、星ヶ城山は断崖帯で要寒で残って折、下山石門洞は紅葉、小豆島の山城を楽しめました。  
(岸本 記)

## 有志山行 熊野古道伊勢路「ツヅラト峠、八鬼山越え」

11月30日～12月1日 CL阪上 SL森 参加者19名

11月30日（金）森之宮7:00⇒ツヅラト峠登口10:15⇒ツヅラト峠12:15 お昼  
12:45⇒花ひろば13:15⇒バス乗車場14:00⇒熊野古道センター  
14:50⇒宿16:00

12月1日（土）宿出発8:00⇒尾鷲節歌碑（登山口）8:30⇒八鬼山峠11:40⇒さ  
くらの森エリア11:50 お昼12:30⇒八鬼山五郎茶屋跡13:20⇒籠立  
場13:55⇒バス乗車14:15⇒森之宮19:15

今回は、熊野古道伊勢路…ツヅラト峠・八鬼山越えです。

ツヅラト峠は、カーブの多い山越え、八鬼山越えは、西国一の難所です。時間をか  
けての古道歩き。どちらも、熊野古道を深く感じさせられる、石畳石垣と沢山残っ  
ていて、至るところで石仏に会え、疲れを感じさせる事なく楽しい古道歩きになり  
ました。何よりも2日共、お天気に恵まれ参加者の皆さんのパワーも頂き、楽しく無  
事終了する事が出来ました。有難うございました。

（森本 記）